

倉敷市
スポーツ施設整備計画
(個別施設計画)

令和5年3月

倉敷市文化産業局文化観光部スポーツ振興課

目 次

1 計画の概要	1
(1) 背景.....	1
(2) 目的と位置付け.....	1
(3) 計画期間.....	2
(4) 対象施設.....	3
(5) 施設の基本情報.....	5
2 施設評価	7
(1) 施設の劣化度状況(ハード評価).....	7
(2) 施設の事業効果等(ソフト評価)	9
(3) 評価結果と施設整備の優先度	10
3 今後の方針	11
(1) 施設整備の基本方針.....	11
(2) 建築物の維持管理方針.....	12
(3) 屋外施設の維持管理方針	13
(4) 対応方針.....	13
4 概算整備費 総括	17
(1) 概算整備費	17
(2) 類型別概算整備費	17
5 施設整備優先順位一覧表	18
(1) 建築物・構築物の施設整備優先順位	18
(2) 屋外照明のLED化整備優先順位.....	18

1 計画の概要

(1) 背景

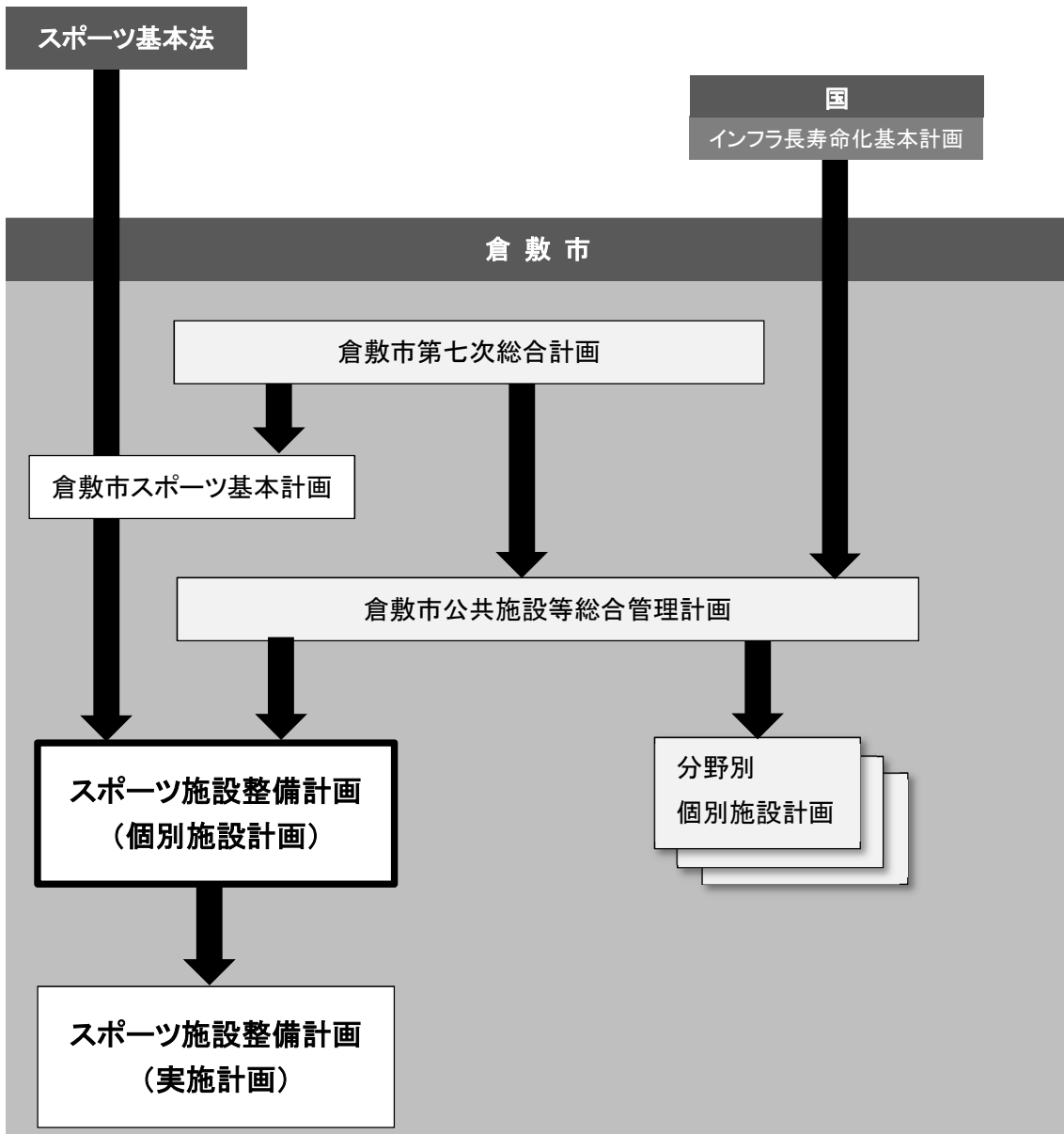
スポーツ施設の整備については、「スポーツ基本法」(平成23年法律第78号)第12条に、「国及び地方公共団体は、国民が身近にスポーツに親しむことができるようにするとともに、競技水準の向上を図ることができるよう、スポーツ施設(スポーツの設備を含む。以下同じ。)の整備、利用者の需要に応じたスポーツ施設の運用の改善、スポーツ施設への指導者等の配置その他の必要な施策を講ずるよう努めなければならない。」「スポーツ施設を整備するに当たっては、当該スポーツ施設の利用の実態等に応じて、安全の確保を図るとともに、障害者等の利便性の向上を図るよう努めるものとする。」と規定されています。

一方、本市のスポーツ施設は、大半が築後30年を経過し、老朽化が進んでいるため、維持管理や修繕に多額の経費が必要となることが懸念されています。今後は、少子高齢化の進行や生産年齢人口の減少等により、税収等の大幅な増加が見込めないため、市民の皆様に安全なスポーツ環境を提供することが困難になると予想されます。また、地域ごとに求められるスポーツ施設の量や質も変化していくため、スポーツ基本法に定められた基本理念を実現するためには、これらの課題に計画的に対応していくことが必要です。

(2) 目的と位置付け

本計画は、スポーツ施設のライフサイクルコストの縮減や財政負担の平準化を図り、効果的、効率的なサービスの提供を将来にわたって継続していくことを目的としており、「倉敷市公共施設等総合管理計画」(平成28年6月策定)に基づく本市所有のスポーツ施設に関する個別施設計画と位置付けます。

本計画では、施設ごとの老朽化の程度や利用状況等を把握、分析することにより、今後の施設のあり方のほか、整備の有効性や必要性等について整理し、施設の適正配置や集約化を含め、中長期的な視点で計画的に施設保全を行うための基本的な方針を定めています。



(3) 計画期間

計画期間は、令和5年度から令和14年度までの10年間とします。本計画では、10年後の施設の状況を想定した対応方針を示しており、5年が経過した際には、計画の全体的な見直しの必要性を検討します。

※倉敷市屋内水泳センター及び水島緑地福田公園水泳場の「集約化」事業は、令和4年度から実施しています。

(4) 対象施設

対象施設は表1のとおりです。なお、区分所有施設、複合施設、無料運動場及びクラブハウスは、対象から除きます。

※クラブハウス:学校内にある更衣室や倉庫等を示します。

<表1:対象施設>

施設名称	所在地	収容人数
倉敷体育館	上富井 1-8	504
中山公園体育館	児島小川 2831	455
玉島の森体育館	玉島乙島 8255-1	420
水島緑地福田公園体育館	福田町古新田 1027	1, 987
真備総合公園体育館	真備町箭田 2208-1	154
倉敷武道館	四十瀬 4-1	—
児島武道館	児島小川 2-1-10	225
水島武道館	水島青葉町 5-28	340
真備柔剣道場	真備町箭田 1770-1	—
倉敷運動公園弓道場	四十瀬 4	300
船穂弓道場	船穂町船穂 5425-2	—
水島緑地福田公園サッカー場兼ラグビー場(天然芝)	福田町古新田 1027	7, 000
水島緑地福田公園サッカー・ラグビー場(人工芝)	福田町古新田 1027	—
倉敷運動公園水泳場	四十瀬 4	300
倉敷市屋内水泳センター	新田 2458	499
酒津公園水泳場	酒津 1658-2	300
児島地区公園水泳場	児島小川町 3697-2	屋外 842
		屋内 400
玉島の森水泳場	玉島乙島 8255-1	1, 000
水島緑地福田公園水泳場	福田町古新田 1027	500
水島中央公園水泳場	水島青葉町 95-1	1, 000
倉敷運動公園テニスコート	四十瀬 4	5, 150
中山公園テニスコート	児島小川 2831	—
玉島の森テニスコート	玉島乙島 8255-1	2, 500
水島緑地福田公園テニスコート	福田町古新田 1027	—
水島中央公園テニスコート	水島青葉町 95-1	—
真備総合公園テニスコート	真備町箭田 2208-1	—
倉敷運動公園野球場	四十瀬 4	10, 550

施設名称	所在地	収容人数
中山公園野球場	児島小川 2831	1, 500
玉島の森野球場	玉島乙島 8255-1	10, 000
水島緑地福田公園野球場	福田町古新田 1027	10, 000
倉敷運動公園軟式野球場	四十瀬 4	1, 000
酒津公園軟式野球場	酒津 1556	1, 000
中山公園軟式野球場	児島小川 2831	—
水島中央公園軟式野球場	福田町古新田 1027	1, 000
真備総合公園軟式野球場	真備町箭田 2208-1	1, 400
倉敷運動公園陸上競技場	四十瀬 4	5, 229
中山公園陸上競技場	児島小川 2831	1, 740
倉敷運動公園ウエイトリフティング場	四十瀬 4	100
倉敷運動公園ウエイトリフティング場練習場	四十瀬 4	—
玉島の森多目的広場	玉島乙島 8255-1	6, 000
真備総合公園多目的広場	真備町箭田 2208-1	—
茶屋町球技場	茶屋町早沖 1103-1	500
粒浦球技場	東粒浦 759	—
粒江球技場	粒江 1730	—
倉敷市グラウンド・ゴルフ場	有城 570-3	—

※参考(対象外施設)

(※クラブハウスを除く)

施設名称	所在地	収容人数
玉島武道館	複合施設 玉島阿賀崎 1-10-2	667
船穂武道館	複合施設 船穂町船穂 2897-2	355
水島体育館	区分所有施設 水島西千鳥町 3-21-303	406
羽島運動場	無料運動場 羽島 275-1	—
玉島池畝運動場	無料運動場 玉島道口 5158-2	—
向山運動場	無料運動場 向山 1837-1	—
徳芳運動場	無料運動場 徳芳 184-1	—
日畑運動場	無料運動場 足守川河川敷	—
福田東スポーツ広場	無料運動場 児島宇野津 2003-1	—
通生スポーツ広場	無料運動場 児島通生 1250-2	—
吉岡川北広場	無料運動場 粒浦 163-1	—
岡田社会体育場	無料運動場 真備町岡田	—
船穂一之丁広場	無料運動場 船穂町船穂河川敷	—

(5) 施設の基本情報

対象施設の基本情報(竣工年度、規模、年間利用人数等)は、表2のとおりです。

<表2:施設基本情報>

(令和3年度末時点)

類型	施設名称		竣工年度	経過年数	規模							年間利用人数
	施設名称	棟名称			地上階数	総延床面積	施設面積(屋外)	建築面積	構造	観覧収容人数	屋外照明	
体育館	倉敷体育館	体育館	1982	40	2	2631.51	-	2255.77	SRC	504	-	39,681
	中山公園体育館	体育館	1983	39	2	2703.24	-	2347.38	SRC	455	-	25,925
	玉島の森体育館	体育館	1981	41	2	2540.16	-	2415.96	SRC	420	-	26,324
	水島緑地福田公園体育館	体育館	1977	45	3	5772.8	-	4009.59	SRC	1987	-	34,136
	真備総合公園体育館	体育館	2010	12	2	2967.31	-	2304.19	S	154	-	20,564
武道場	倉敷武道館	武道場	1975	47	4	3269.72	-	1258.88	SRC	-	-	25,609
	児島武道館	武道場(剣道)	1987	35	1	608	-	608	S	225	-	18,708
		武道場(空手、柔道)	2014	8	1	1151.06	-	1274	S	-	-	-
	水島武道館	武道場	2003	19	2	1392.61	-	742.77	RC	340	-	22,796
	真備柔剣道場	武道場	1977	45	1	501.77	-	455	S	-	-	2,784
弓道場	倉敷運動公園弓道場	武道場	1975	47	1	503.7	-	607.36	S	300	-	9,620
	船穂弓道場	武道場	1979	43	1	151.13	-	153.73	W	-	-	1,994
サッカー・ラグビー場	水島緑地福田公園 サッカー場兼ラグビー場(天然芝)	サッカー・ラグビー場	1975	47	-	16786	16786	-	-	7000	-	10,351
	水島緑地福田公園 サッカー・ラグビー場(人工芝)	サッカー・ラグビー場	2022	0	-	19007.2	19007.2	-	-	-	-	-
		本部棟	2022	0	2	448.64	-	298.3	RC	-	-	-
水泳場	倉敷運動公園水泳場	幼児プール	1974	48	-	504.2	504.2	-	RC	300	-	0
		更衣棟	1991	31	1	29.3	-	29.3	RC	-	-	-
	倉敷市屋内水泳センター	水泳場	1981	41	3	5634.1	-	4285.49	RC+S	499	-	82,242
		水泳場	1970	52	-	255.2	255.2	-	RC	300	-	0
	酒津公園水泳場	更衣棟	1970	52	-	42.55	-	42.55	RC	-	-	-
		水泳場(屋外50m)	2002	20	-	1655	1655	-	RC	842	-	81,406
	児島地区公園水泳場	水泳場(屋内25m)	2002	20	3	6885.41	-	4972.44	RC	400	-	-
		水泳場	1984	38	-	2254.33	2254.33	-	RC	1000	-	-
		事務所(WC含)	1985	37	1	301.8	-	301.8	RC	-	-	4,593
	玉島の森水泳場	技術室・機械室	1985	37	1	160	-	160	RC	-	-	-
		水泳場(屋外50m)	1987	35	-	1736	1736	-	RC	-	-	-
脱衣室・更衣室		1987	35	2	1445.2	-	1134.8	RC+S	500	-	10,635	
水島緑地福田公園水泳場	水泳場(屋内25m)	1987	35	1	876.9	-	876.9	RC+S	-	-	-	
	水泳場	2015	7	-	4486	1643	0	RC	1000	-	7,370	
	管理棟	2015	7	1	400.51	-	411.71	W	-	-	-	
テニスコート	倉敷運動公園テニスコート	テニスコート	1989	33	-	4200	4200	-	-	5150	96	47,823
		本部棟	1989	33	2	229.25	-	127.5	RC	-	-	-
	中山公園テニスコート	テニスコート(南)	1972	50	-	5800	5800	-	-	-	36	-
		本部棟	1986	36	1	80	-	80	RC	-	-	-
		便所(南)	1974	48	1	20	-	20	CB	-	-	29,895
		テニスコート(北)	1985	37	-	1639	1639	-	-	-	-	-
		便所(北)	1993	29	1	38.7	-	38.7	RC	-	-	-
	玉島の森テニスコート	テニスコート	1982	40	-	4210	4210	-	-	2500	36	-
		更衣棟(男子)	1985	37	1	31.36	-	31.36	RC	-	-	21,224
		更衣棟(女子)	1985	37	1	32.34	-	32.34	RC	-	-	-
		本部棟事務所	1985	37	2	49.74	-	18.37	RC	-	-	-
	水島緑地福田公園テニスコート	テニスコート	1977	45	-	8039	8039	-	-	-	38	46,797
		本部棟	1994	28	2	202.8	-	126	S	-	-	-
	水島中央公園テニスコート	テニスコート	1964	58	-	2800	2800	-	-	-	16	17,943
	真備総合公園テニスコート	テニスコート	1985	37	-	3270	2800	-	-	-	32	-
便所		1985	37	-	48	-	48	RC	-	-	-	

類型	施設名称		竣工年度	経過年数	規模						年間利用人数	
	施設名称	棟名称			地上階数	総延床面積	施設面積(屋外)	建築面積	構造	観覧収容人数		屋外照明
野球場	倉敷運動公園野球場	野球場	1992	30	-	12954	12954	-	-	10550	288	23,504
		本部棟	1991	31	4	11658.95	-	6612.38	RC	-	-	
	中山公園野球場	野球場	1969	53	-	13000	13000	-	-	1500	116	8,215
		本部棟	1970	52	2	2320.99	-	1221.19	RC	-	-	
	玉島の森野球場	野球場	1980	42	-	12100	12100	-	-	10000	-	6,356
		本部棟	1984	38	1	62.9	-	62.9	RC	-	-	
水島緑地福田公園野球場	野球場	1975	47	-	13166	13166	-	-	10000	120	10,366	
	本部棟	1987	35	1	62.25	-	62.25	RC	-	-		
軟式野球場	倉敷運動公園軟式野球場	軟式野球場	1975	47	-	11790	11790	-	-	1000	104	16,257
		本部棟	1975	47	1	18	-	18	CB	-	-	
		ダッグアウト	1975	47	1	39.96	-	39.96	CB	-	-	
	酒津公園軟式野球場	野球場	1968	54	-	6000	6000	-	-	-	-	5,963
	中山公園軟式野球場	軟式野球場	1987	35	-	6521	6521	-	-	-	84	4,704
		ダッグアウト	1988	34	1	30.64	-	30.64	RC	-	-	
	水島中央公園軟式野球場	軟式野球場	1962	60	-	11874	11874	-	-	1000	60	7,134
		ダッグアウト	1962	60	1	26.14	-	26.14	RC	-	-	
真備総合公園軟式野球場	軟式野球場	1984	38	-	10500	10646	-	-	1400	144	6,754	
	本部棟・ダッグアウト	1984	38	1	80	-	80	-	-	-		
陸上競技場	倉敷運動公園陸上競技場	陸上競技場	1973	49	-	17861	17861	-	-	5229	40	51,267
		本部棟	1993	29	3	1220.81	-	772.93	RC	-	-	
	中山公園陸上競技場	陸上競技場	1974	48	-	20000	20000	-	-	1740	12	13,692
		本部棟	1983	39	2	724.02	-	808	RC	-	-	
ウエイトリフティング場	倉敷運動公園ウエイトリフティング場	体育館	1992	30	2	751.29	-	559.25	RC	100	-	16,281
		練習場	2018	4	1	131.36	-	131.36	S	-	-	2,977
多目的広場	玉島の森多目的広場	多目的広場	1981	41	-	15320	15320	-	-	6000	168	13,963
		本部棟	1988	34	1	62.37	-	62.37	RC	-	-	
	真備総合公園多目的広場	多目的広場	1985	37	-	7900	7900	-	-	-	-	-
球技場	茶屋町球技場	球技場	1973	49	-	7966	7966	-	-	-	-	4,222
		便所	1986	36	1	19.2	-	19.2	LGS	-	-	
	粒浦球技場	球技場	1979	43	-	1640	1640	-	-	-	-	4,483
		便所	1979	43	1	2.7	-	2.7	LGS	-	-	
	粒江球技場	球技場	1976	46	-	960	960	-	-	-	-	2,923
		球技場	1976	46	1	2.7	-	2.7	LGS	-	-	
グラウンド・ゴルフ場	倉敷市グラウンド・ゴルフ場	グラウンド	2019	3	1	14246.4	14246.4	-	W	-	-	12,334
		管理棟	2019	3	1	114.99	-	178.22	W	-	-	

(凡例) 構造 : 『RC』-鉄筋コンクリート造 『S』-鉄骨造 『W』-木造
『SRC』-鉄骨鉄筋コンクリート造 『CB』-コンクリートブロック造
屋外照明 : 屋外照明の器具台数を示す。

2 施設評価

(1) 施設の劣化度状況 (ハード評価)

施設の劣化は、建築後の経過年数に比例し、進行していきますが、施設の個々の事情(利用状況や改修状況、立地場所による風雨の影響等)により、その進行度合は一定ではありません。

このため、経過年数に加え、施設点検結果や耐震工事への対応等を数値化し、計算式により、対象施設の劣化度を A、B、C の3段階に分類しました。

なお、すでに大規模改修を実施した施設は、改修後の経過年数により劣化度を判定しています。また、グラウンドについては、原則、今後の方針を「現状維持」とし、劣化度の判定を行っていません。

①施設劣化状況点検結果(建築物)

項 目	評価点：評価結果
①屋 上	1:概ね健全 2:劣化度小 3:劣化度大
②外 壁	1:概ね健全 2:劣化度小 3:劣化度大
③電気設備	1:概ね健全 2:劣化度小 3:劣化度大
④機械設備	1:概ね健全 2:劣化度小 3:劣化度大
⑤総合評価	1:劣化レベル1 2:劣化レベル2 3:劣化レベル3 4:劣化レベル4 5:劣化レベル5 (数字が大きいくほど劣化が進んでいる)
小 計	①+②+③+④+⑤

②施設現状点検結果(建築物・屋外プール)

項 目	評価点：評価結果
①雨漏り・漏水	1:過去3年間なし 2:過去3年間にあり(修繕済) 3:現在もあり(修繕未了・原因不明)
②安全性(ひび割れや腐食等による部位部材の欠損部分の有無)	1:欠損部分がない 3:欠損部分がある
③機能不全(使えない室や機能の有無)	1:使えない室や機能がない 3:使えない室や機能がある
小 計	①+(②×2)+③

③耐震工事(実施状況・今後の予定)(建築物)

評価点：評価結果	
0: 工事不要(新耐震)	1: 耐震補強全部実施済
2: 耐震補強一部実施済	3: 耐震工事不要(耐震性有の判定)
4: 耐震診断未実施	5: 耐震診断で要補強

④経過年数ポイント

評価点：評価結果
<p>経過年数1年につき1ポイントの評価点とする。 ⇒法定耐用年数50年(鉄筋コンクリート造一般用途)の1年=1ポイントを基準とする。 法定耐用年数が50年でないものは、経過年数×(50÷法定耐用年数)で算出する。</p>

●劣化度分類区分(施設状況により劣化度を3段階に分類しました。)

計算式は次のとおりです。なお、建築物は、①施設劣化状況点検結果と③耐震工事のウェイトを高くし、屋外プールは、②施設現状点検結果のウェイトを高くしています。

【建築物】劣化度指数計算式 = (①×2) + ② + (③×2) + ④

【屋外プール】劣化度指数計算式 = (②×3) + ④

区分	劣化度指数	劣化度
A	40ポイント以下	小さい
B	41～66ポイント	中程度
C	67ポイント以上	大きい

(2) 施設の事業効果等（ソフト評価）

各施設の今後の対応方針を検討するにあたり、劣化度というハード的視点に加え、事業効果等、ソフト面からの検証も行う必要があることから、次のとおり評価を実施しました。

対象施設の利用状況等の次の各項目について、評価点数を付与し、その合計値により、施設の事業効果等を1、2、3の3段階に分類しました。

①利用状況

項 目	評価点：評価結果
期待(想定)値と比較した利用状況	1:期待(想定)以上 2:ほぼ期待(想定)どおり 3:期待(想定)を下回る

②収支の改善状況

項 目	評価点：評価結果
期待(想定)値と比較した収支の改善状況	1:期待(想定)以上 2:ほぼ期待(想定)どおり 3:期待(想定)を下回る

③事業の継続性

項 目	評価点：評価結果
10年後も継続して実施すべきか	1:継続して実施する 2:現時点では判断できない 3:事業廃止があり得る

④施設の代替性

項 目	評価点：評価結果
同じ種類の事業を民間で実施していないか	1:実施できない 2:不明(把握できていない) 3:実施している

⑤施設の独立性

項 目	評価点：評価結果
同じ種類の他の施設と集約化が可能か	1:不可能 2:判断できない 3:可能

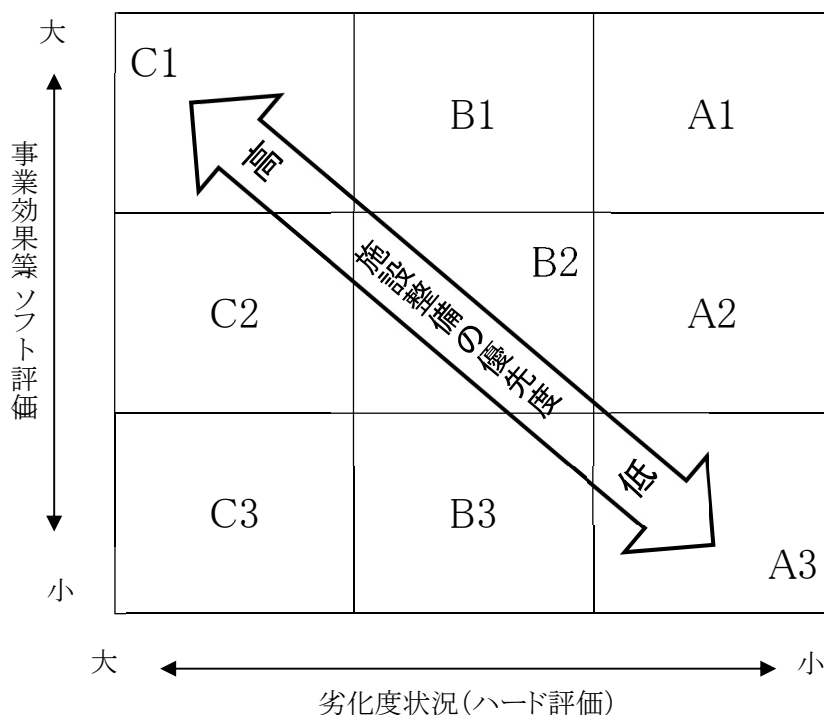
●事業効果等分類区分(施設状況により事業効果を3段階に分類しました。)

事業効果等指数計算式=①～⑤の合計

区 分	事業効果等指数	事業効果等
1	8ポイント以下	大きい
2	9～12ポイント	中程度
3	13ポイント以上	小さい

(3) 評価結果と施設整備の優先度

劣化度状況(ハード評価)3分類と事業効果等(ソフト評価)3分類の2軸で、各施設の評価結果を9パターンに類型化しました。今後行う施設整備の優先度は、ハード評価、ソフト評価がともに大きいものが高く、ともに小さいものが低くなります。ただし、グラウンドについては、劣化度を考慮しないため、事業効果等(ソフト評価)で優先度を判定します。



3 今後の方針

(1) 施設整備の基本方針

施設の老朽化により、今後、建替や長寿命化等に要する費用の増大が見込まれる中、同時期に全ての施設を整備することは、財政負担が大きく、困難な状況です。

施設整備にあたっては、中長期的な計画を策定し、優先順位を決めて実施し、財政負担の平準化を図る必要があります。また、既存施設の効果的な利活用を第一に考えるとともに、施設の適正配置や集約化等により、施設の更新費用の縮減を図ることも必要です。

①点検、診断等の実施方針に基づき、安全・適正な状態を保ちます。

適切な点検、診断を実施し、必要かつ的確な修繕等を実施します。さらに、施設の状況や修繕履歴等の情報を、今後の点検、診断等に活用します。

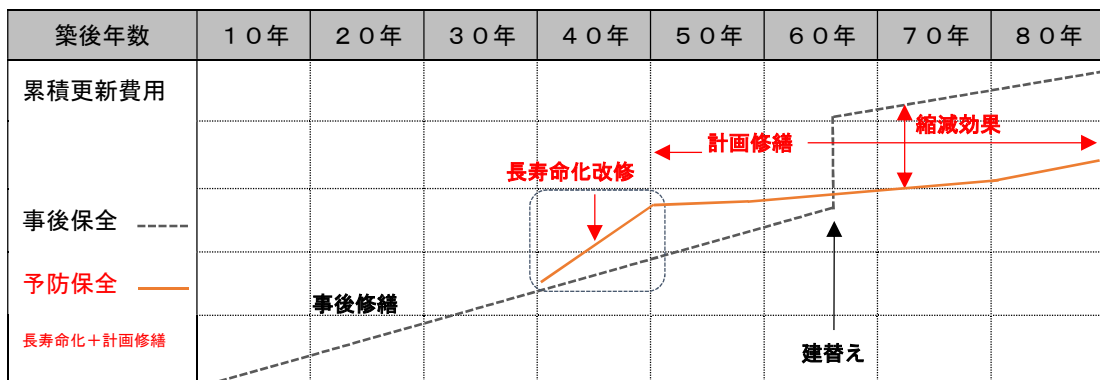
②施設の集約化、廃止を検討します。

同じ用途の施設が近隣に立地している場合や利用率の低い施設、維持に多額のコストを要する施設は、利用者ニーズや利用実態を考慮したうえで、集約化や廃止を検討します。

③ライフサイクルコストの縮減を図ります。

限られた財源の中で、利用者ニーズや社会状況の変化に対応するため、「予防保全」と「事後保全」を組み合わせながら、施設の長寿命化を進め、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

<改修サイクルのイメージ>



④施設の機能性向上を図ります。

施設の劣化が進行している場合、バリアフリーや省エネルギー等の時代に即したニーズに対し、現状の施設性能では対応できないことが想定されます。長寿命化改修等を行う際には、施設性能の向上を図り、新たなニーズへの対応を進めます。

(2) 建築物の維持管理方針

①基本的な考え方

これまでの維持管理は、施設に不具合が生じてから対症療法的に修繕を行う「事後保全」を基本としていたため、施設の短命化や修繕コストの増大を招くリスクがありました。今後は、計画的に施設の改修等を行う「予防保全」へ転換することで、ライフサイクルコストを縮減し、財政負担の軽減や平準化に取り組みます。

また、既存施設の効果的な利活用のほか、施設の適正配置や集約化に加え、施設の機能性向上や利用者ニーズの変化への対応も図ります。

②使用目標年数

施設の計画的な改修と長寿命化を進めるにあたり、目標とする耐用年数の設定が必要となります。法定耐用年数(減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和40年大蔵省令第15号)別表第1に掲げる耐用年数)を超えて利用できる年数(以下「使用目標年数」という。)は、法定耐用年数プラス20年に設定します。

③具体的な対応策

・現状維持

建替、大規模改修等を行わず(「事後保全」、「予防保全」のための改修を実施)、現状のまま施設を利用します。

・長寿命化

建築物は、概ね築40年を目途に機能性向上を含めた「長寿命化」改修を行います。早期に外壁や屋上防水、水廻り、内装、設備等の更新を行うことで、使用目標年数の延長を図ります。

・単独建替・廃止

改修が施されず、築60年を迎えようとしている建築物は、原則、「単独建替」や「廃止」を検討します。基本的には、建替が必要な場合は、「集約化」を優先的に検討するため、「単独建替」は「集約化」が適さない場合の例外とします。

「単独建替」は施設を単独で(「集約化」しないで)建替えるもので、原則的に、延床面積は建替前より10%以上の縮減を図ります。

・集約化

他の場所に立地する同じ種類の施設と統合します。

「集約化」後の施設の延床面積は、「集約化」前の対象施設の合計より10%縮減を
目指します。

(3) 屋外施設の維持管理方針

①基本的な考え方

施設の利用状況等を踏まえ、安全性、経済性、法令遵守の観点から、存続が可能かどうかを総合的に判断します。人工芝グラウンドや屋外プール、屋外照明を除き、「現状維持」とし、「事後保全」を行います。

なお、更新については、各対象物の耐用年数に基づき行います。ただし、劣化状況その他の要因により、実施時期が前後する場合があります。

②具体的な対応策

・人工芝グラウンド

概ね10年を目途に張替を行います。ただし、劣化状況その他の要因により実施時期が前後する場合があります。

・屋外プール

「(2)建築物の維持管理方針」と同様に対応します。

・屋外照明

経過年数と使用頻度を総合的に判断し、優先順位を決め、順次LED化を図ります。照度は原則「現状維持」とし、積極的に省エネを図ります。

(4) 対応方針

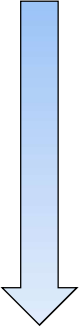
前述の評価結果等を参考に検討を行い、類型別に一覧(p.16 参照)にまとめました。今後の方針が「現状維持」以外の場合は、施設ごとに整備時期や整備費の概算等を記載しています。この内容は実施計画に反映させ、進捗管理を行います。

※注意※

- ・経過年数は、令和4年4月1日時点のものです。
- ・複数の棟がある場合は、代表的な建物の経過年数を記載しています。
- ・経過年数、法定耐用年数、使用目標年数の()内数字は、屋外施設の場合を示します。
- ・整備費は、税抜きの金額を千円単位で記載しています。

●優先順位の考え方

施設整備を行う際の優先順位について、その考え方を次に記載しています。緊急性が高い施設以外は、原則、古いものから順に整備することとします。

優先度	優先順位の考え方
高  低	危険性が高い施設の安全性確保を目的とした改修を行います。
	経年劣化が著しく、維持するために早急な対応が必要な施設の改修を行います。
	全国規模の大会やイベント等で利用者が増加すると想定され、早急に利便性や安全性の向上や求められる施設の整備を行います。
	その他

●整備費の計算方法

整備手法や場所、規模、使用する設備機器等によって変動するため、現時点で正確な整備費の算出は困難です。次の単価、考え方により概算整備費の算出を行いますが、あくまで整備にかかる事業規模を把握するための試算であり、整備内容や規模は、今後、個別具体的に検討を行います。

①新設（増設）の場合（施設の集約化による新設（増設）を含む）

- ・総務省提供の「公共施設等更新費用試算ソフト」（以下「総務省提供ソフト」という。）の用途別更新単価を使用しています。

【スポーツ・レクリエーション系等施設】 単価(360千円/㎡) × 対象延床面積(㎡)

- ・「集約化」の延床面積は、「集約化」前の対象施設の合計より縮減するため、整備費の算定にあたっては、延床面積を10%削減して計算しています。

②長寿命化の場合

- ・倉敷市が独自開発した「長期修繕計画策定支援システム KELS (Kurashiki Easy Long-term repair planning System)」により、計画期間である10年間を対象期間として算出した費用（建築部分、電気設備、機械設備の各費用の合計）を使用しています。
- ・総務省提供ソフトは、大規模改修費用単価を用途別更新単価の6割に設定していますが、KELSによる計算値は、使用目標年数までの期間の差を個別に反映できるため、総務省提供ソフトの単価は使用していません。

③解体の場合（施設の集約化による廃止を含む）

- ・平成25年12月に総務省自治財政局地方債課が公表した「公共施設等の解体撤去

事業に関する調査結果」により算出された単価(28千円/㎡)×対象延床面積(㎡)で算出しています。

④屋外照明 LED 化改修、砂入り人工芝改修及び屋外プール新設の場合

・過去の工事实績に基づき算出しています。

【屋外照明 LED 化改修】 単価(680千円/台)

【砂入り人工芝改修】 単価(15千円/㎡)

【屋外プール新設】 単価(113千円/㎡)

※上記①～④については、いずれも設計費用を含んでいません。

■類型別対応方針一覧表

※()内数字は、屋外施設を示す。

※劣化度分類区分:		※事業効果分類区分:	
区分	劣化度	区分	事業効果
A	小さい	1	大きい
B	中程度	2	中程度
C	大きい	3	小さい

※○印は、LED化対象施設を示す。

類型	施設番号	施設名称	竣工年度	経過年数	法定耐用年数	大規模改修年度	劣化状況	施設評価	優先順位	整備手法 建物/(屋外)	整備時期	屋外照明 LED化	概算整備費 (単位:千円)	利用者 特記外 全世代	備考
体育館	1	倉敷体育館	1982	40	47		C	C1	9	長寿命化	計画後期		115,236		
	2	中山公園体育館	1983	39	47		C	C1	10	長寿命化	計画後期		117,967		
	3	玉島の森体育館	1981	41	47		C	C1	8	長寿命化	計画後期		104,841		
	4	水島緑地福田公園体育館	1977	45	47	2019	A	A1		現状維持	-		-		2019年に耐震補強工事及び長寿命化改修を実施。
	5	真備総合公園体育館	2010	12	34		A	A1		現状維持	-		-		
武道館	6	倉敷武道館	1975	47	47	2021	C	C1		現状維持	-		-		2021年に耐震補強工事を実施。
	7	児島武道館	1987	35	34	2014	A	A1		現状維持	-		-		2014年に剣道場は部分改修を、空手道場は新たに増築を実施。
	8	水島武道館	2003	19	47		A	A1		現状維持	-		-		
	9	真備柔剣道場	1977	45	34	2021	A	A1		現状維持	-		-		2020年度に耐震補強、2021年度に災害復旧修繕を実施。
弓道場	10	倉敷運動公園弓道場	1975	47	34		C	C1	6	集約化	計画後期		226,269		船穂弓道場を廃止し、倉敷運動公園に集約化する。
	11	船穂弓道場	1979	43	22		C	C3	7	集約化(廃止)	計画後期		4,232		1団体のみの利用。土地:神社から借用。
サッカー・ラグビー場	12	水島緑地福田公園サッカー場兼ラグビー場(天然芝)	1975	(47)	(30)		-	(1)		現状維持	-		-		
	13	水島緑地福田公園サッカー・ラグビー場(人工芝)	2022	0(0)	47(30)		A	A1/(1)		現状維持	-		-		
水泳場	14	倉敷運動公園水泳場	1974	31(48)	47(30)		C	C3	4	集約化	計画後期		99,476	幼児	酒津公園水泳場を廃止し、倉敷運動公園に集約化する。
	15	倉敷市屋内水泳センター	1981	41	47		C	C1	2	集約化(廃止)	計画前期		157,755		屋内水泳センターを廃止し、水島緑地福田公園に集約化する。
	16	酒津公園水泳場	1970	52(52)	47(30)		C	C2	5	集約化(廃止)	計画後期		8,337	幼児	酒津公園水泳場を廃止し、倉敷運動公園に集約化する。
	17	児島地区公園水泳場	2002	20(20)	47(30)		B	B1		現状維持	-		-		
	18	玉島の森水泳場	1984	37(38)	47(30)		C	C1		現状維持	-		-		
	19	水島緑地福田公園水泳場	1987	35(35)	47(30)		C	C1	1	集約化	計画前期		2,691,436		屋内水泳センターを廃止し、水島緑地福田公園に集約化する。
テニスコート	20	水島中央公園水泳場	2015	7(7)	24(30)		A	A1		現状維持	-		-		
	21	倉敷運動公園テニスコート	1989	33(33)	47(30)		B	B1		現状維持/(現状維持)	-	○	128,280		屋外照明のLED化、10年毎に人工芝の張替(前回:2012年)
	22	中山公園テニスコート	1972	48(50)	47(30)		B	B1		現状維持/(現状維持)	-		111,585		10年毎に人工芝の張替(前回:2012年)
	23	玉島の森テニスコート	1982	37(40)	47(30)		B	B1		現状維持/(現状維持)	-		63,150		10年毎に人工芝の張替(前回:2016年)
	24	水島緑地福田公園テニスコート	1977	28(45)	47(30)		B	B1		現状維持/(現状維持)	-		120,585		10年毎に人工芝の張替(前回:2019,2020年)
	25	水島中央公園テニスコート	1964	(58)	(30)		-	(1)		(現状維持)	-	○	52,880		屋外照明のLED化、10年毎に人工芝の張替(前回:2016年)
野球場	26	真備総合公園テニスコート	1985	37(37)	47(30)		-	(1)		(現状維持)	-	○	70,810		屋外照明のLED化、10年毎に人工芝の張替(前回:2022年)
	27	倉敷運動公園野球場	1991	31(30)	47(30)		B	B1		現状維持/(現状維持)	-	○	195,840		屋外照明のLED化
	28	中山公園野球場	1969	52(53)	47(30)		C	C1	3	単独建替/(現状維持)	計画前期	○	167,268		屋外照明のLED化。2021年の耐震診断より耐震性なし。補強不可。
	29	玉島の森野球場	1980	38(42)	47(30)		B	B1		現状維持/(現状維持)	-		-		
軟式野球場	30	水島緑地福田公園野球場	1975	35(47)	47(30)		B	B1		現状維持/(現状維持)	-	○	81,600		屋外照明のLED化。
	31	倉敷運動公園軟式野球場	1975	(47)	(30)		-	(1)		(現状維持)	-	○	70,720		屋外照明のLED化。
	32	酒津公園軟式野球場	1968	(54)	(30)		-	(1)		(現状維持)	-		-		
	33	中山公園軟式野球場	1987	(35)	(30)		-	(1)		(現状維持)	-	○	57,120		屋外照明のLED化。
	34	水島中央公園軟式野球場	1962	(60)	(30)		-	(1)		(現状維持)	-	○	40,800		屋外照明のLED化。
陸上競技場	35	真備総合公園軟式野球場	1984	(38)	(30)		-	(1)		(現状維持)	-	○	97,920		屋外照明のLED化。
	36	倉敷運動公園陸上競技場	1973	29(49)	47(30)		B	B1/(1)		現状維持/(現状維持)	-	○	27,200		屋外照明のLED化、5年毎に2種公認継続工事が必要
ウエイトリフティング場	37	中山公園陸上競技場	1974	39(48)	47(30)		C	C2/(2)		現状維持/(現状維持)	-	○	8,160		屋外照明のLED化。
	38	倉敷運動公園ウエイトリフティング場	1992	30	47		B	B1		現状維持	-		-		
多目的広場	39	倉敷運動公園ウエイトリフティング場練習場	2018	4	47		A	A1		現状維持	-		-		
	40	玉島の森多目的広場	1981	34(41)	47(30)		C	C1/(1)		現状維持	-	○	114,240		屋外照明のLED化。
球技場	41	真備総合公園多目的広場	1985	(37)	(30)		-	(1)		現状維持	-		-		
	42	茶屋町球技場	1973	(49)	(30)		-	(1)		(現状維持)	-		-		
	43	粒浦球技場	1979	(43)	(30)		-	(1)		(現状維持)	-		-		
グラウンド・ゴルフ場	44	粒江球技場	1976	(46)	(30)		-	(1)		(現状維持)	-		-		
	45	倉敷市グラウンド・ゴルフ場	2019	3(3)	24(30)		-	A1		現状維持	-		-		

4 概算整備費 総括

施設整備にあたっては、将来にわたる財政負担の平準化を図るとともに、財政的に有利な地方債である「公共施設等適正管理推進事業債」の適用のほか、国の補助金や交付金等の財政支援制度の活用について、引き続き検討を進めます。

具体的な事業金額については、毎年度更新する「倉敷市スポーツ施設整備計画（実施計画）」に記載します。

（１）概算整備費

（単位：千円）

	計 画 期 間		計 画 期 間 全 体
	前 期	後 期	
概算整備費 （税 抜）	3,565,744	1,367,963	4,933,707
概算整備費総額 （税 込）	3,922,318	1,504,760	5,427,078

（２）類型別概算整備費

（単位：千円）

類 型	単独建替	長寿命化	集約化	集約化 （廃 止）	屋外照明 LED化	人工芝 改 修	合 計 （税 抜）
体 育 館	-	338,044	-	-	-	-	338,044
武 道 場	-	-	-	-	-	-	0
弓 道 場	-	-	226,269	4,232	-	-	230,501
サッカー・ラグビー場	-	-	-	-	-	-	0
水 泳 場	-	-	2,790,912	166,092	-	-	2,957,004
テニスコート	-	-	-	-	97,920	449,370	547,290
野 球 場	88,388	-	-	-	356,320	-	444,708
軟式野球場	-	-	-	-	266,560	-	266,560
陸上競技場	-	-	-	-	35,360	-	35,360
ウエイトリフティング場	-	-	-	-	-	-	0
多目的広場	-	-	-	-	114,240	-	114,240
球 技 場	-	-	-	-	-	-	0
グラウンド・ゴルフ場	-	-	-	-	-	-	0
合 計	88,388	338,044	3,017,181	170,324	870,400	449,370	4,933,707

5 施設整備優先順位一覧表

(1) 建築物・構築物の施設整備優先順位

優先順位	施設名称	竣工年度	経過年数	施設評価	整備手法	整備時期	概算整備費 (千円) 【LED化・人工芝改修除く】	備考
1	水島緑地福田公園水泳場	1987	35	C1	集約化	前期	2,691,436	屋内水泳センターを廃止し、水島緑地福田公園に集約化する。
2	倉敷市屋内水泳センター	1981	41	C1	集約化(廃止)		157,755	
3	中山公園野球場本部棟	1970	52	C1	単独建替		床面積65㎡程度 88,388	
4	倉敷運動公園水泳場	1974	48	C3	集約化	後期	99,476	酒津公園水泳場を廃止し、倉敷運動公園に集約化する。
5	酒津公園水泳場	1970	52	C2	集約化(廃止)		8,337	
6	倉敷運動公園弓道場	1975	47	C1	集約化		226,269	船穂弓道場を廃止し、倉敷運動公園に集約化する。
7	船穂弓道場	1979	43	C3	集約化(廃止)		4,232	
8	玉島の森体育館	1981	41	C1	長寿命化		104,841	
9	倉敷体育館	1982	40	C1			115,236	
10	中山公園体育館	1983	39	C1			117,967	

(2) 屋外照明のLED化整備優先順位

優先順位	施設名称	竣工年度	経過年数	照明台数	整備時期	概算整備費 (千円)	備考
1	中山公園軟式野球場	1980	42	84	前期	57,120	
2	倉敷運動公園テニスコート	1981	41	96		65,280	
3	中山公園テニスコート	1981	41	36		-	LED化済み
4	倉敷運動公園軟式野球場	1983	39	104		70,720	
5	真備総合公園テニスコート	1985	37	32		21,760	
6	玉島の森多目的広場	1986	36	168		114,240	
7	水島中央公園テニスコート	1987	35	16		10,880	
8	水島緑地福田公園テニスコート	1988	34	38		-	LED化済み
9	水島緑地福田公園野球場	1990	32	120	後期	81,600	
10	真備総合公園軟式野球場	1991	31	144		97,920	
11	中山公園陸上競技場	1991	31	12		8,160	
12	倉敷運動公園野球場	1992	30	288		195,840	
13	中山公園野球場	1997	25	116		78,880	
14	水島中央公園軟式野球場	2007	15	60		40,800	
15	倉敷運動公園陸上競技場	2009	13	40		27,200	
16	玉島の森テニスコート	2013	9	36		-	LED化済み

倉敷市スポーツ施設整備計画

(個別施設計画)

令和5年3月

発行: 倉敷市文化産業局文化観光部スポーツ振興課